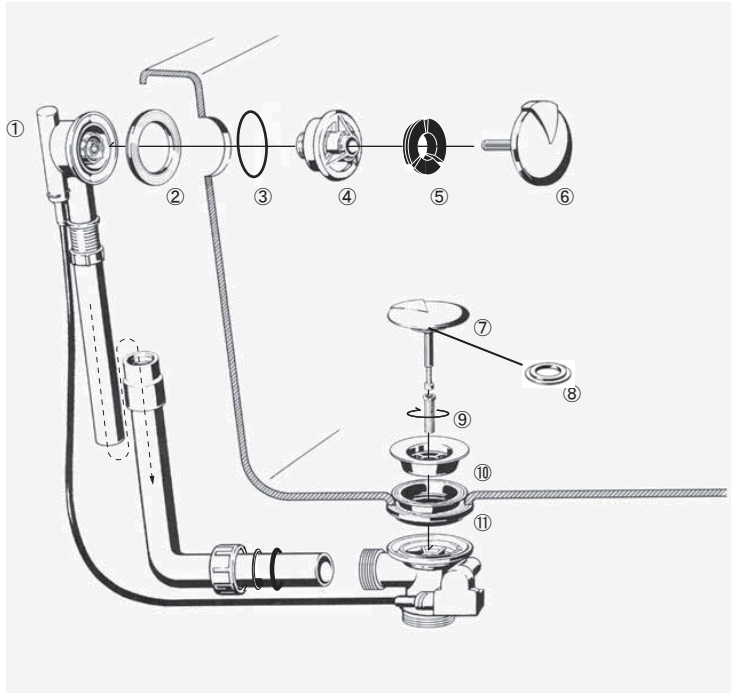


-バスタブ用排水金具について-

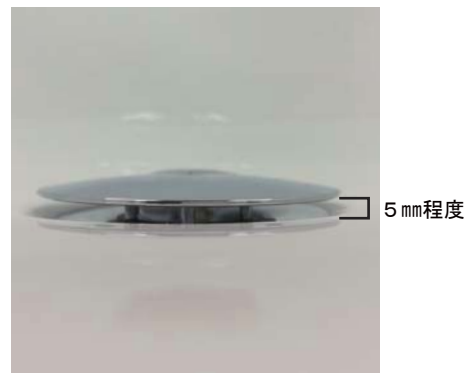
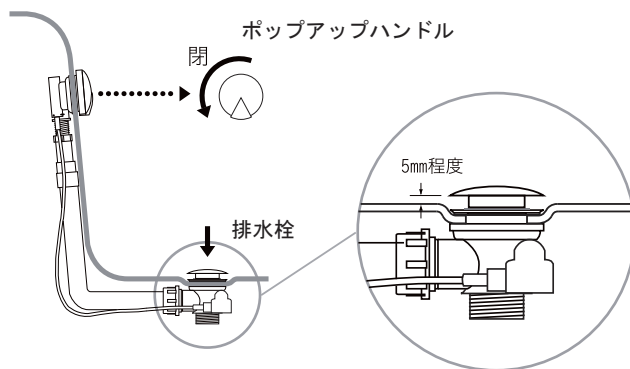


- ①排水部品本体
- ②パッキン
- ③オーリング
- ④オーバーフローフランジ
- ⑤オーバーフロー穴埋めゴム栓
- ⑥ポップアップハンドル
- ⑦排水栓
- ⑧排水栓パッキン
- ⑨目皿取付ボルト
- ⑩排水目皿
- ⑪U型パッキン

■取扱方法

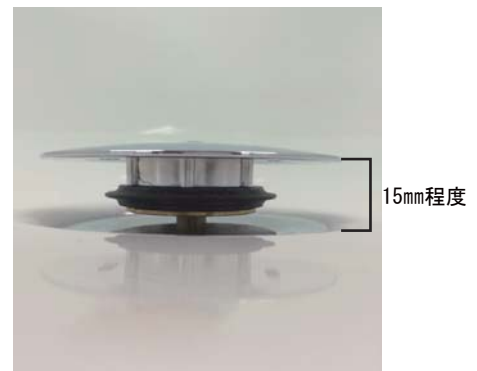
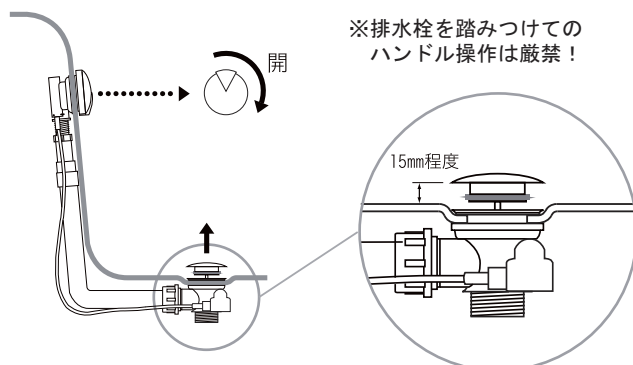
・お湯をためる場合

ポップアップハンドルを反時計回りに回して排水栓を閉じます。※排水栓は閉じて状態でも若干(5mm程度)の隙間が生じます。

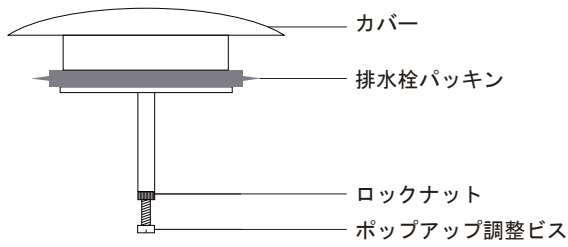


・お湯を排水する場合

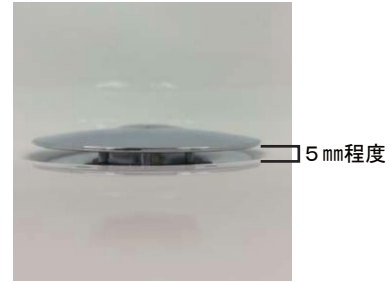
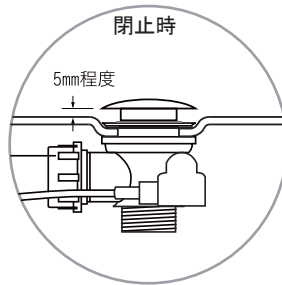
ポップアップハンドルを時計回りに回して排水栓を開けます。※排水栓がバスタブ底面より15mm程度浮いた状態が適正です。



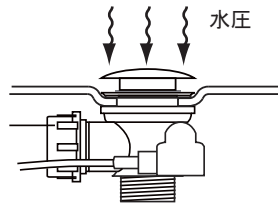
■バス用排水栓について



- ①排水栓は、カバーの下に取り付けられた排水栓パッキンが排水目皿の接触して止水しているため、閉止時でもカバーとバスタブ底面との間に若干の隙間(5ミリ程度)が生じる機構となっており、溜めた水が抜けない状態であれば正常な状態です。

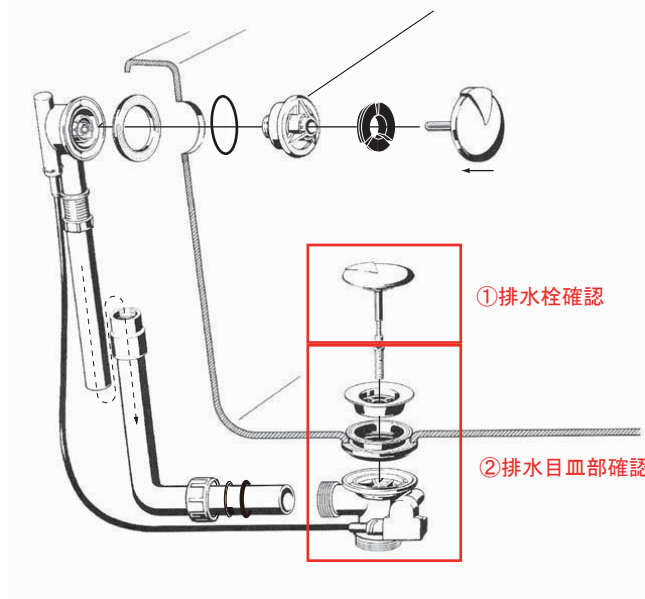


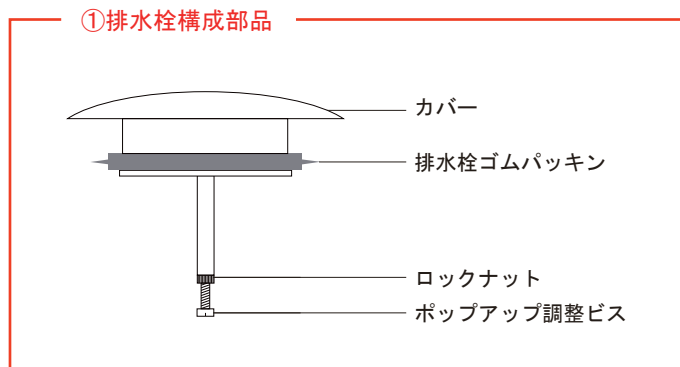
- ②排水栓はバスタブに溜めた水の水圧が加わることで止水効果を上げる構造となっています。少量の水では多く抜ける場合がありますので、水抜けの検査を行う際は15cm以上水を溜めてから行ってください。



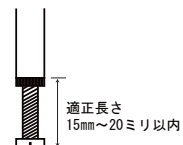
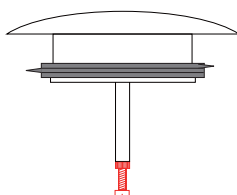
- ③ポップアップ排水金具は構造上、僅かに水が抜けることがあります。(24時間で5センチから最大で10センチ程度の水位低下)
 ④ご使用中に排水栓を踏みつけたり、直接手で押し込んだりしないでください。排水金具本体が破損する場合があります。

■浴槽内の湯水が抜ける場合、下記を参照に確認してください。





a: 排水栓の調整が適正か確認してください。



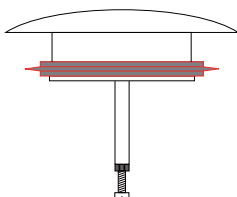
※調整ビスは20ミリ以内で設定し排水栓が適切に開閉する設定してください。
20ミリ以上ビスを出すと排水金具を破損させる原因となる場合があります。

・排水栓調整方法



- ①ロックナットを緩めます。
- ②ポップアップ調整ビスの長さを調整する
- ③最後のビスが緩まないようロックナットを締め込んでビスを固定する

b: 排水栓パッキンの状態を確認してください。



バス用ポップアップ排水栓パッキンがひび割れていたり、硬化していると湯水が溜まらなかったり、ポップアップハンドルの動きが固くなる場合があります。その場合は排水栓パッキンを交換してください。

・パッキンがヒビ割れている → 新しいパッキンに交換してください。



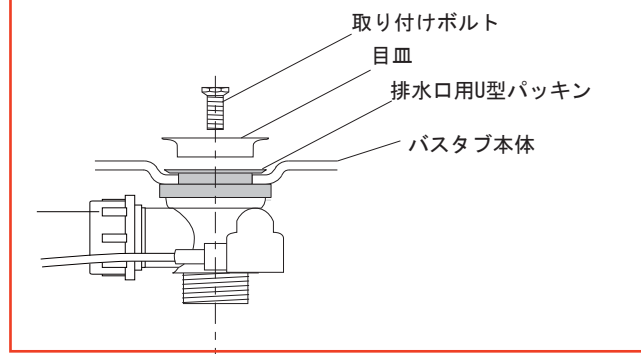
パッキンを手で持って伸ばしながら凹より取り外してください。取付けの際は排水栓の凹にパッキンを馴染ませて取り付けてください。

・パッキンが歪んでいる → 栓の凹にしっかりと馴染ませて取り付け直してください。

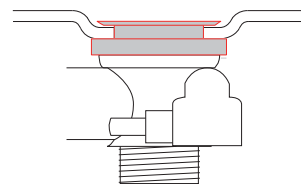


※排水栓パッキンは当社で販売しております。ご必要な場合は直接当社までお問い合わせください。

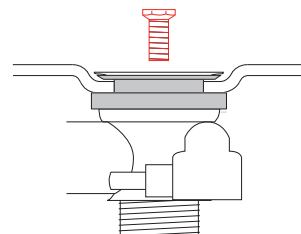
②排水目皿部構成部品



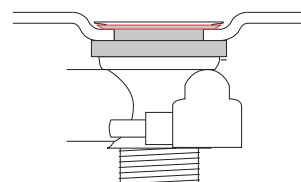
a: 排水口用U型パッキンの向きと取り付けについて確認する。
バスタブの排水口を挟むように取り付けられているか？
また、パッキンの向き(上下)に間違いはないか？



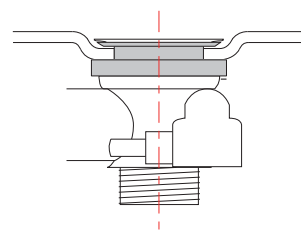
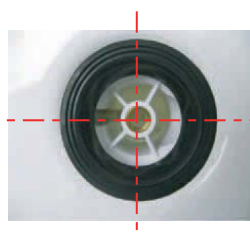
b: 取り付けボルトの締め込み不足で目皿が緩んでいないか確認する。
緩みがある場合、しっかりと締め込んでください。



c: 排水口用U型パッキンに汚れが付着していないか確認する。
また、パッキンがゆがんだままで締め込んでないか確認する。



d: バスタブの排水口の芯と目皿の芯がずれていないか確認する。
ずれている場合、一度ボルトを緩め芯を合わせて締め込んでください。



①・②のそれぞれを確認し、正常に取り付いているにも関わらず、症状が変わらずに水が抜けてしまう場合、バスタブ本体の僅かな製品誤差によるものの可能性が高いため、下記赤線部のパッキン面あるいは目皿回りにコーキングを薄く塗布して取り付けてください。



※取り付けボルトや目皿は分かりやすいように外しておりますが、実際に外してしまうと復旧が出来なくなります。
ご確認の最は緩める程度で各箇所をチェックしてください。
※追焚付給湯器対応モデルの場合、循環アダプターの締め込みや取り付けについてもあわせて確認してください。